

年を重ねるごとに、皆で楽しく人生を送りたい

川根地域では、おなじみの「手作り演芸お楽しみ会」を主催する「川根さわやか有志会」は地域の高齢者ばかり。和気あいあいと楽しく続けて、年明けに20周年になります。その立ち上げから普段の踊りの稽古そして本番と、舞台になっっているのが小長谷さんです。

【高齢者だからこそ楽しむ】
定年退職を機に、地域の高齢者が楽しめる催しを始めた。いと考えたのがきっかけ。舞踊を習っていた小長谷さんは、曲にみんなが踊りやすい振り付けをして、月2回の稽古を10グループに行っています。カレンダーは、毎日予定でびっしりです。

「でもね、決して先生とは呼んでもらいたくないの。『気分取らない』

飾らない「手作り」をモットーに、同じ仲間としてやってきたからこそ、誰も辞めずに続けてこられたんだと思うんです」

会員は60から96歳まで、足

人たちがどんどん増えて、平成18年の「ねんりんピック」芸能部門にも呼ばれるほどになりました。ところが、その翌年に小長谷さん自身が足を悪くしました。「みんな続

一年に一度の発表の場であるお楽しみ会が、今ではもう地域全体の楽しみに。「みんなが喜んでくれるのが、やっぱり好きなんですよね」

【家族の仲も深まる踊り】

約100人の仲間それぞれに、応援する家族がいます。交流している会も観に来ると、観客は500人を超えます。「踊りをなかなか覚えられなくて、本番で間違うことも多いけれど、微笑ましく観てくれます」

小長谷さんの家族も、全員でお楽しみ会を支えてくれています。主催する川根さわやか有志会の会員に加えて、当日は小長谷さんの家族と親戚が総出で運営に当たります。華やかな踊りからお笑い部門まである構成が人気で、市内の養護施設や地域の祭りに

も引っ張りだこです。「踊りが嫌いだつた夫も、地域の仲間に加わりたくなったように、夫婦二人三脚で活動しています。今が幸せすぎて怖いくらい」と朗らかな笑みがこぼれます。



川根さわやか有志会主宰
小長谷しげさん (川根町家山)

腰が弱い人たちも、椅子に座りながら、踊りに参加して楽しんでいきます。

【みんなが喜ぶのが好き】
発足後、仲間に加わりたい

けたいという気持ちが強くてね。座ったままでできる範囲で、お稽古を続けました。今も足に不自由さはあるし、来年80歳になるけれど、みんなが望む限りやめられないですね」



■第20回 高齢者手作り演芸お楽しみ会
◎川根さわやか有志会 (小長谷)
☎ 53-2792
とき/1月19日(日) 午前10時~午後3時 (午前9時30分から開場)
ところ/川根文化センター チャリム21ホール
入場/無料
申し込み/不要

